

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		自己評価の2〜3年間の内容がある。	具体的実施状況を詳しく記入し、現状を把握する機会を設ける。	1つ1つ項目ごとに実施状況を詳しく具体的に記入する。	12ヶ月
2		ケアプランの長期・短期目標がいつも同じである。	ポイントに応じて目標を設定し、利用者主体のより充実したプラン作りが出来る。	検討会においてプラン内容の変更から新たな目標を設定する。	1ヶ月
3		ヒヤ・ハット報告書について分析がなされていない。	報告者については、なぜ分析を行っていないか原因究明を行い、再発防止・事故防止に努める。	報告者が減少してしまっても、発生状況階級等について分析を行い結果をまとめておく。	1ヶ月
4		避難訓練について	・消防署の報告書を確認する。 ・救急隊の到着を待たずに避難訓練を実施する。 ・事前訓練の充実を図る。	訓練後、消防署の報告書を確認し、訓練には車椅子利用者も参加できるように実施する。	6ヶ月
5					7ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。